

科目名	医療ソーシャルワーク					単位	2.0
担当教員	室田 人志						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	4414

●授業のテーマ

患者とその家族の生活支援にかかわる医療ソーシャルワークのあり方、課題について学ぶ。

●到達目標

1. 医療福祉援助を必要とする患者とその家族の生活課題を理解する。
2. 平均在院日数の短縮化等による退院等の問題の理解とその支援の方法を学ぶ。
3. 医療期間の特殊性を理解し、必要な医療サービスを的確に受けられる方法を学ぶ。

●学習内容(授業概要)

高度な医療技術の発達、医療の専門分化、国民医療費の高騰等々医療を取り巻く環境は日々変化している。平均在院日数の短縮化による退院問題、あるいはがん患者、原因不明の難病患者も増加し、在宅医療への早期移行が推進されている。

このような動向がもたらす患者とその家族の療養生活への影響と生活課題を理解した上で、医療ソーシャルワークの方法、課題について学ぶ。

とくに、入退院に関わる相談支援、退院後の地域生活支援、それにとまなう多職種との連携、支援にかかわる制度・社会資源等を具体的な事例を通して学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション
～医療ソーシャルワークで何を学ぶか～
2. 疾病と生活課題
3. 医療政策と病院医療の動向
4. 「社会的入院」削減と退院問題
5. 医療ソーシャルワークの方法
6. 医療ソーシャルワークの動向
7. 医療ソーシャルワークと入院問題
8. 医療ソーシャルワークと医療費等経済的問題
9. 医療ソーシャルワークと退院問題
10. 医療ソーシャルワークとチーム医療、連携のあり方
11. 医療ソーシャルワークと地域包括ケアとの関連
12. 医療ソーシャルワークと社会資源・法制度
13. 医療ソーシャルワークの実際
～事例研究・チームアプローチ、多職種連携等の方法～
14. 医療ソーシャルワークの実際
～事例研究・サービス活用による生活支援方法～
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：医療供給体制、医療保険制度、国民の疾病構造等について調べた上で授業に臨むこと。

事後学習：患者とその家族の生活課題を十分理解し、医療ソーシャルワークの視点・方法・知識をまとめること。

●成績評価方法・基準

- ①授業に臨む姿勢および期末試験(レポート等)によって評価する。レポートについては、到達目標について

の理解、習熟度について審査する。

②レポート評価は、60点以上であること（60点未満は不可）。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：医療福祉論、著者名：川村匡由・室田人志編著、出版社：ミネルヴァ書房、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

児島美都子著「新医療ソーシャルワーカー論」ミネルヴァ書房

村上須賀子他編著「病院実習ガイドブック」頸草書房

「社会保障の手引き」（平成27年版）中央法規

札幌テレビ放送取材班著「がん患者、お金との闘い」岩波書店

菊地かほる「これがMSWの現場です」医学通信社

宮内佳代子「私はあなたを見捨てない」角川書店

販売先：(株)Do

●履修上の注意

テキストとパワーポイントを使用して講義を進める。詳細は最初の講義の際に説明する。わからないことは講義中でも積極的に質問すること。